

# 上京中だよ!

京都市立上京中学校

校長 近藤 博史

令和2年7月21日

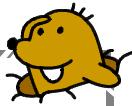
7月号

校訓 人・もの・ときを大切に

学校教育目標 「自立・貢献・夢づくり」

豊かな心とたくましく生きる力を備え、社会に貢献する

夢や希望をもって、未来を切り拓く生徒の育成



## 7月の言葉

「伸びる(成長)ポイントは“振り返り”をすること!  
“振り返り”による反省は 課題と目標を明確にする」

7月も中旬が過ぎ、校内の紫陽花の花もすっかり色あせてしまいました。代わって、梅雨の合間に見せる空の色は鮮やかな青へと変わり、夏の到来を感じるようになりました。

学校再開から50日。学校だよりの6月号で紹介したイモ畑(先生方が学校再開に向けて、緑が少しでもあれば生徒の癒(い)やしになるかなと、校内的一部を整地してつくったもの)はすっかり成長して生い茂り、緑の葉が一面に見られるようになりました。

また、あるクラスで5月半ば過ぎから水栽培で育てている植物(えだまめ・ひまわり・おくら・レモンバームなど)も、日光をたっぷりと浴び、日に日に大きくなり、その成長を感じます。

6月から7月にかけて、梅雨による雨の恵みに、植物は生き生きとその命を育み、自然界全体を豊かなものにしてくれます。自然のもつ力の素晴らしいところとありがたさを正に実感しています。

しかし一方で、3年前の北九州北部豪雨、一昨年の西日本豪雨のように、最近の異常気象は局地的な大雨を降らし、各地に大きな被害をもたらしています。7月初旬の熊本県球磨川(くまがわ)流域を襲(おそ)った豪雨も、川の氾濫(はんらん)を招き、たくさんの家屋が浸水し、死者・行方不明者を出すなど、その被害は甚大(じんたい)となりました。その後、九州の各地や中国・中部地方にも被害が広がっています。

緊急事態宣言後に自粛(じしゅく)が解かれ、学校が再開し、少しずつ日常が戻り始め、ようやく軌道に乗り出した矢先の突然の大災害は、自然の怖さを改めて感じる機会となりました。

先日“西日本豪雨 今日2年”という見出しの記事の中に、遺族代表の方の「異常気象が起きた現代で、被災で亡くなる人をどう減らしていくかが課題。私の家族の死を無駄にしないでください。」という印象深いコメントがありました。

地震・台風・大雨などの災害が多くなるこれからの季節。自然の怖さとともに災害の教訓を忘れず、万一に備え、いざという時のための準備を怠ってはならないことを、そのメッセージは私たちに伝えてくれているのだと思います。

今回の豪雨災害で、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、1学期もあと10日で終わりとなります。学校が始まり実質2ヶ月足らずですが、いたん、この間のクラスや個人の活動・取組を振り返り、良かった点と悪かった点を整理し、反省してみることも重要な作業かと思います。

例えば、教室の後ろに掲示してある個人の目標がどの程度達成できているかを振り返ること。これは1つ大切なことです。

また、先日期末テストが終わりましたが、テスト返しの後に、間違った原因は何なのか、どこが分かっていないかったのかなどを整理してみることは、その問題への理解を深めることや、同じ間違いを繰り返さないことに繋(つな)がります。

“振り返り”を行うことは、学習面だけに限らず、生活面においても大切なことで、“反省”は今後の目標設定や次の行動への貴重な材料となり、夏休みや2学期の生活をより良いものにしてくれるはずです。少し時間をとって、今学期の“振り返り”を行うようにしてみてください。



## 7月のイモ畑・水栽培

話は変わって今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春季大会、夏季選手権大会や各コンクール等の開催中止が次々と決まり、残念な状況となりました。しかし、それぞれの部では、改めて代替大会などの次の目標が決まり、今はそれに向けて、日々練習に取り組んでいるのではないでしょうか。部によっては、その日まであとわずかと迫っているかもしれません、特に3年生は、悔いの残らないよう、チーム一丸となって最後まで練習に全力を尽くしてください。繰り返し繰り返し練習をしてきたことは、体が自然と覚えていき、大会当日、無心で試合等に臨(のぞ)んだときに、その力を発揮するものです。

“継続は力なり！” 皆さんの活躍と健闘を祈っています。

なお、予報では今週以降、日中は暑い日が続くようです。今年はマスクの着用もあり、熱中症には細心の注意を払い、特に水分補給はこまめにするようお願いします。(水も多めに持参してください。) さらに、水難事故も心配です。ご家庭でも安全面と感染予防には十分注意を払っていただき、お子たちがこの7・8月に充実した生活が送れるよう、ご支援とご指導をお願いしたいと思います。保護者の皆様も、体調には十分ご留意ください。

## ◆部活動の段階的な再開！

6月15日から、待ちに待った部活動の段階的な再開が始まりました。同じ週には、4月早々の休校措置によりできていなかつた「部活動紹介」や1年生の「部活動体験(見学)」、3学年が揃(そろ)う「部活動ミーティング」が行われ、活動内容(3密を避ける等)や活動時間(2時間以内)、活動場所(自校のみ)などの制限はあるものの、部活動ができる喜びをかみしめながら、ようやく本格的なスタートとなりました。2・3年生は新入生の体験や入部に嬉しいいっぱいのようすで、緊張しながらも、先輩として優しく接していました。



6月29日からは従来の部活動ガイドラインに沿って、時間的な制限が解除となり、7月10日からは活動場所(京都府内での活動が可)が緩和され、練習試合など合同練習も学校数、参加人数限定で実施できるようになりました。徐々にではありますが、感染予防を施しながら、本来の形に戻っており、多くがまもなく引退となる3年生のことを考えると、本当に嬉しい限りです。

## ◆1年生 図書館使用のオリエンテーション！

6月も後半となれば、本来は1年生も「学校に慣れてきた頃」という話になるのですが、今年は実際には入学し立てと変わらず、まだまだ右も左も分からないというのが現状かと思います。そんな中、6月23・24日に、学校司書として週2日来ていただいている先生から、1年生を対象に、「図書館使用のためのオリエンテーション」をしていただきました。



図書館の開館日や開館時間、どこにどのような本が配架されているのか、蔵書(本)の借り方は?といった実務的な説明をしていただき、さらに実際に自分で本を探してそれを借りるまでの体験や上京中の図書館にある蔵書の冊数、先輩たちがどれくらい借りているのかなど、興味を引くお話をいただきました。

ちなみに、本校の図書館にある蔵書の数は11,137冊(3月末現在)だそうで、これは文科省の基準からすると少し足らない状況(あと1千冊ほど必要)だと教えていただきました。それでも、現在1年間に本校の書籍類は約500冊ずつ増えており、いい感じで蔵書管理をしていただいています。

あと、昨年度、年間で本を借りた冊数が多かった人の上位は2年生が多く、1位が40冊、2位が38冊と続きました。また、2年生がよく借りに来ているとのことでした。40冊の本はページ数でいうと12,000ページ分だそうで、「それだけ読んだ」と説明を聞いていた1年生も驚いていました。

今回のオリエンテーションをきっかけに、図書館で好きな本を探し、本を借り、本を読むという1つの習慣を身に付ける人が増えると嬉しいです。



#### 【保護者の皆様へ】

まずは、週末の校区内寺院への爆破予告。何事もなくひと安心です。今後も緊急の際に、ホームページとPTAメール配信の活用をいたします。メール配信の登録がまだお済みでない方は、お手数ですがよろしくお願ひします。

さて、学校再開からまもなく2ヶ月となります。5月末頃は今後どのような状況になっていくのか予測もできない中で、不安を抱えながら再開したように思います。しかしこの2ヶ月間、生徒たちは授業や部活動等の中で生徒同士、或いは先生とのちょっとした交流を積み重ねながら、少しずつ明るく、活気を取り戻してきたように思います。笑いがあり、笑顔があり、時にはケンカをすることもあり、以前の“日常”的姿が見られるようになり、嬉しくなってきます。

まだまだ予断を許さない状況は続きますが、引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願ひします。

なお、明日から三者懇談会が始まります。限られた時間ではありますが、ご相談ごと等がありましたら、遠慮なく申し出てください。懇談の折に、地震・暴風等緊急時の引き渡しの実施について、保護者のご意向を担任よりお尋ねしますので、その調査にご協力ををお願いします。



#### 【追記】

今年度に入り、卒業生や保護者・地域の皆様方から、生徒・教職員のためにマスクをつくっていただいたり、放課後の消毒作業のために消毒薬を寄贈していただくなど、大変お世話になっています。感染症対策で学校が困っているときに、手を差し伸べてくださるそのお気持ちに、本当にありがとうございます。改めて感謝を申し上げます。上の写真はその寄贈していただいたときのようすです。

7月行事予定を貼る

【京都はぐくみ憲章】

# 京都はぐくみ憲章

～子どもを共に育む京都市民憲章～



わたくしたちは、

- 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。やさしさ
- 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日(青児ニコニコ笑顔の日)制定  
3月13日 京都市会が憲章推進を決議

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で  
**「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう!**



校訓 ひと もの とき を大切に

学校教育目標 「自立・貢献・夢づくり」

豊かな心とたくましく生きる力を備え、  
社会に貢献する夢や希望をもって、  
未来を切り拓く生徒の育成